

# 経鼻内視鏡検査のすすめ

# 消化器と内視鏡の「？」がわかる!

最も経鼻内視鏡検査を受けていただきたい方は、以前に口からの内視鏡検査を受けて「おえー」となり、もう二度とやりたくないと考えている方です。経鼻内視鏡検査は吐き気が起きにくく、もう二度とやりたくないと考えていた方の90%以上が、「鼻からならまた受けてもいい」と回答しているからです。

## 患者様の声 (1)

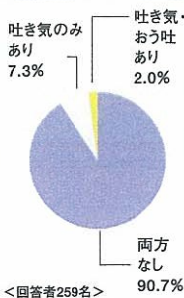
会社の検診で内視鏡の指示を受け、鼻からの検査を希望しました。過去に2回口からの内視鏡に挑戦し、飲むことが出来ず非常に不安でしたが、無事に検査ができ安心しました。口から出来なかった人も、これなら出来ると思っています。(53歳・男性)

## 患者様の声 (2)

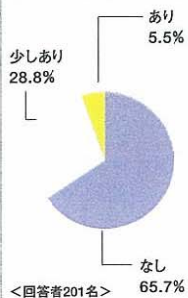
初めての鼻からの内視鏡で、鼻が痛いのではないかと不安でしたが、口からに比べて大変楽でした。リラックスして受けることができたので、今までの内視鏡の恐怖がなくなりました。同じように恐怖をもたれている方には、是非鼻からの内視鏡をおすすめします。(55歳・女性)

## 経鼻内視鏡検査を経験された患者様へのアンケート

### 吐き気・おう吐はございましたか?



### 鼻の痛みはございましたか?



### 口からの内視鏡苦痛度を10とすると、鼻からはいかがでしたか?

経鼻内視鏡の苦痛度  
**平均 3.4**

阿部公紀先生 (東京医科大学八王子医療センター 消化器内科)

## 内視鏡で見つける! おなかの健康

健康応援サイト  
ドットコム



最近胃腸の調子が気になる...

おなかの病気ってどんなものがあるの?



早期発見には何をすればいいの?

監修: 佐竹儀治先生  
(田原記念クリニック院長、  
昭和大学医学部客員教員)

内視鏡検査にはどんな準備が必要?

「おなかの健康ドットコム」は、胃や大腸などの消化器疾患や内視鏡検査についてわかりやすく解説した総合サイトです。おなかの健康チェックから内視鏡の最新技術まで、情報満載でアクセスをお待ちしています。

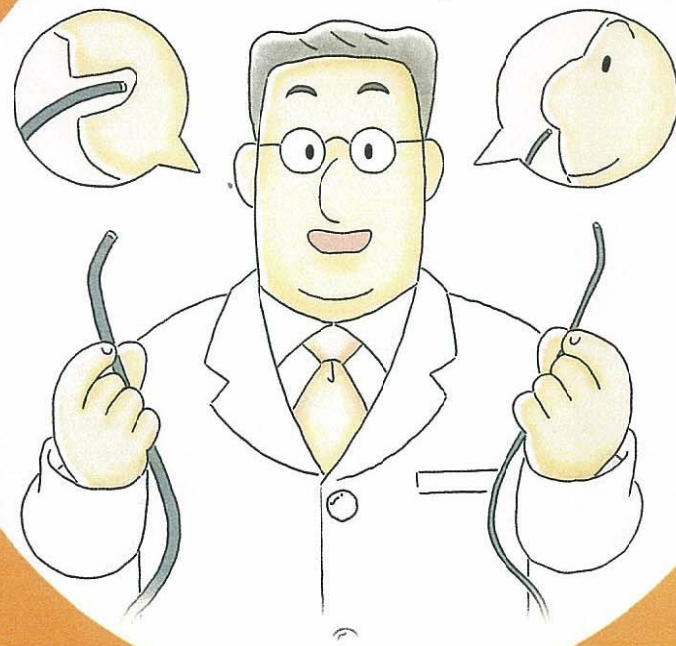
<http://www.onaka-kenko.com>

監修: 多田正大先生 (多田消化器クリニック 院長)

制作協力: オリンパスメディカル システムズ株式会社

# 胃の内視鏡検査は、口からだけでなく鼻からも行えます。

鼻からの内視鏡検査をご存じですか?





鼻から行う内視鏡検査には、  
こんな特徴があります。

鼻からの内視鏡検査を実現する内視鏡は、  
こんな構造になっています。

# 鼻からの内視鏡検査の流れ

## 苦痛が少ない

内視鏡は、鼻にスムーズに挿入できる、約5mmの細さです。検査中の苦痛が少ないため、強い麻酔の必要もありません。

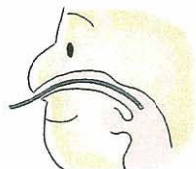


## 吐き気が起きにくい

内視鏡が舌のつけ根を通らず、のどに触れることもないので、不快感や吐き気をほとんど感じずに検査を受けることができます。



経口挿入



経鼻挿入

## 会話ができる

検査中も会話が可能です。質問をしたいとき、気分を告げたいときなど、医師と自由にお話できるので安心です。



## 鉛筆より細い内視鏡



## 先端部約5mmの極細内視鏡

内視鏡は先端部約5mmという細さです。鉛筆と比べると、どれだけ細いかがお分かりいただけることでしょう。

## 診断に必要な機能も充実

処置具用の2mmの「鉗子口」を備えているので、胃液の吸引や組織採取なども行えます。



組織採取用の処置具

## 細くても観察画像は高画質

超小型CCDを搭載しているため、医師は通常の内視鏡と同等の高画質で観察が行えます。

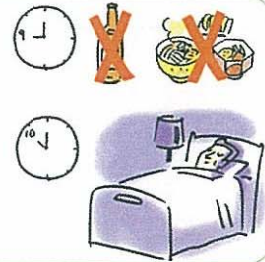
### 【ご注意ください】

- 鼻腔や患者様の容態によっては、鼻からの挿入が難しい場合もあります。
  - 経鼻内視鏡は非常に細いため、処置には適さない場合もあります。
- \* 詳しくは、診察時に担当医師にご相談ください。

## 1 検査前日

夕食は軽めに摂り、21時以降の飲食（水を除く）は避け、早めの就寝を心掛けましょう。

\*採血等の事前検査が必要な場合もあります。



## 2 検査当日の朝

飲食（水を除く）、喫煙、薬の摂取は避けてください。

\*常用薬を服用されている方は、事前に医師にご相談ください。



## 3 検査前の準備

胃の中をきれいにするため、白い液体の薬（消泡剤）を飲みます。



## 4 鼻の麻酔

検査室に移動後、鼻の中に麻酔をします。

## 5 内視鏡検査

医師がモニターに映るおなかの中をすみずみまで観察します。検査時間は3～10分程度です。



## 6 検査後

検査が終わったら身支度を整え、少し休んでください。気分や体調がすぐれないときは、すぐに医師に伝えましょう。